

2018 年度国際ユース作文コンテスト

【子どもの部】 入選

未来からの手紙

(原文は英語)

ネダ・シミッチ (13 歳)

ボスニア・ヘルツェゴビナ・モドリチャ市

スベティ・サバ小学校

2025 年 4 月 12 日

読んでくれる皆さんへ

この手紙の日付を見て「変だな」と感じる人もいるでしょう。皆さんを怖がらせるつもりはありません。ただ、大切なメッセージを伝えたいのです。私は今、2025 年の世界から皆さんにこの手紙を書いています。私の時代の地球は危険にさらされていて、皆さんの助けが必要です。おそらく皆さんは「自分に何ができるだろう」と問いかけてみるでしょう。でも、その答えを見つけるのはそんなに難しくありません。問題の原因を作ったのは皆さんなのですから。問題の解決の前に、まず、そのことを知っておいてもらわなければいけません。それでは、私がどのような問題に直面しているのかをお話しします。

青く美しい「海」と呼ばれる世界が危険にさらされています。皆さんの時代の人たちは、この海に大量のプラスチックを捨てています。プラスチックは海の生きものにはとても危険です。プラスチックを工サと間違えて食べて死んでしまったり、プラスチックの容器に捕まってしまったりするからです。皆さんの時代の科学者は言いました。「2015 年までに、海に漂うプラスチックの量が 155 トンになるおそれがある」と。その科学者たちは間違っていました。本当はその 2 倍です。これをくい止める方法を見つけなければならないのは皆さんです。解決方法は身近なところにあります。皆さんはモノを消費しますね。ですから、まず買い物のときにリサイクルバッグを使うようにしてください。それから、ペットボトルに入った飲みものを買うのもやめましょう。ペットボトルは汚染の 5 大原因の一つです。代わりに、繰り返し使うことのできる水筒のほうがいいと思います。

私からもう一つ提案があります。音楽家や芸術家、俳優、ファッションデザイナーといった有名な人たちの力で、人々のものの考え方を換え、これまでにない工夫をこらした新しい製品を生活に取り入れるきっかけを作るのです。海を漂うプラスチックは着るものに作り替えることができます。すでにいくつかのスポーツウェアの会社では、海から回収したプラスチックで製品を作ることができています。ならば、ほかの会社もこれにならってはどうか。より早く海をきれいにして世界中の海岸からプラスチックをなくすことができるでしょう。

人間が排出した二酸化炭素の30%は、海が吸収していることはよく知られています。この影響はまもなく皆さん自身が感じるようになると思います。それがどんなに危険かを知り、どのような結末を招くのかを理解し、この問題が広く認識されるようにする必要があります。車以外の手段として歩くことを考えてください。自転車でもいいですし、公共の乗り物を使ったり、友だち同士で車をシェアしたりしてもいいと思います。

皆さんは、海にはたくさんの魚がいると考えているかもしれませんが、私たちが思うほどそんなに多くはありません。違法な漁でたくさんの魚がとられているからです。海のもの生活を糧にしている人たちは世界中に何百万人もいます。ここで考えなければならないのは、高級レストランで食事をする人たちのことではなく、海で魚をとって生活している貧しい人たちのことです。こうした人たちが行う漁は大した問題ではありません。本当の問題は、機械や装置を使って大量の魚をとる水産業にあります。小さい魚までとってしまうので、魚が繁殖できません。皆さんの時代に、自然繁殖する魚の数よりもたくさんの魚がとられてしまいました。これが海の生きもののバランスに影響を与えただけでなく、海の近くで暮らす、魚を生活の糧にする人たちにも影響を与えました。法律を破ってたくさんの魚をとる水産会社を監視して厳しく対応するよう、皆さんは自分たちの政府にもっと働きかける必要があります。

「海は世界の下水道だ!」。有名な海洋学者ジャック・イヴ・クストーの言葉です。皆さん、今の状態を変えるためにできるかぎりのことをしてください。皆さんの日ごろの行いや、それが海とそこに住む生きものにどのような影響を与えているのかを考えてください。海が死んだら、私たちも死ぬことに気づいてください。誰かが何とかするだろうと人まかせにしないでください。海と海の生きものを守る取り組みをしている団体はたくさんあります。そうした活動に皆さんもぜひ参加してください。すべての問題を解決できるわけではありませんが、まず皆さんに行動してほしいのです。そして、もの考え方を換え、周りの人たちにも同じように働きかけてください。自分たちの力でより良い未来を創るには、それしか方法はありません。

未来の友だち、ネダより